

空調夏期契約
(一般ガス選択約款)

2019年10月1日実施

苫小牧ガス株式会社

目 次

1. 目的	-----	1
2. この選択約款の変更	-----	1
3. 用語の定義	-----	1
4. 適用条件	-----	1
5. 契約の締結	-----	1
6. 使用量の算定	-----	2
7. 料金	-----	2
8. 単位料金の調整	-----	2
9. その他	-----	3
付 則		
1. この選択約款の実施期日	-----	4
2. この選択約款の実施に伴う切り替え措置	-----	4
別 表		
空調夏期契約に適用する料金表	-----	5

1. 目的

この選択約款は、負荷調整を推進しつつ当社の製造供給設備の効率的利用を図り、以って合理的・経済的なガス需給の確立に資することを目的といたします。

2. この選択約款の変更

当社は、この選択約款を変更することがあります。この場合には、お客さまとのガス料金その他の供給条件は、変更後の選択約款によります。

3. 用語の定義

この選択約款及び需給契約において使用する用語の定義は、次のとおりです。

- (1) 「契約使用可能量」とは、空調用熱源機の全定格入力（キロワット）を標準熱量（メガジュール）で除し3.6を乗じた値をいいます（小数点以下切り捨て）。ただし、1立方メートル未満の場合は1立方メートルといたします。
- (2) 「空調機器」とは、消費機器のうちエネルギー源としてガスを使用する空調用熱源機をいいます。
- (3) 「消費税等相当額」とは、消費税法の規定により課される消費税及び地方税法の規定により課される地方消費税に相当する金額をいいます。この場合、その計算の結果、1円未満の端数が生じた場合には、その端数の金額を切り捨てます。
- (4) 「定額基本料金（税込）」「流量基本料金単価（税込）」「基準単位料金（税込）」とは、定額基本料金、流量基本料金単価及び基準単位料金それぞれの消費税等相当額を含んだ金額をいい、消費税法第63条の規定に基づき記載するものです。
- (5) 「定額基本料金（税抜）」「流量基本料金単価（税抜）」「基準単位料金（税抜）」とは、定額基本料金、流量基本料金単価及び基準単位料金それぞれの消費税等相当額を含まない金額をいいます。
- (6) 「単位料金」とは、8に定める基準単位料金（税抜）又は調整単位料金をいいます。

4. 適用条件

お客さまが、空調機器を使用し、空調機器のガス使用量を算定する専用のガスメーターを設置する場合には、当社に対してこの選択約款の適用を申し込むことができます。

5. 契約の締結

- (1) お客さまは、新たにこの選択約款に基づきガスの使用を申し込む場合又はその後の契約更新に際し契約内容を変更しようとする場合には、契約使用可能量を定め、当社と契約していただきます。
- (2) 契約期間は次のとおりといたします。
 - ① 新たにガスの使用を開始した場合の契約期間は、料金の適用開始の日から同日が属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日までといたします。
 - ② 契約種別を変更した場合、変更後の契約期間は、契約種別の変更の日の翌日からその変更の日の属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日までといたします。
 - ③ 契約期間満了時においてお客さまと当社の双方が契約内容について異議のない場合には、契約は、契約期間満了日の翌日からその満了日の属する月の翌月を起算月として12か月目の月の検針日まで同一条件で継続するものとし、以後も同様といたします。
- (3) 本契約の契約期間満了前に解約又は一般ガス供給約款に定める料金への変更をしたお客さまが、再度同一需要場所で本契約又は他の選択約款（暖房用季節契約）の申し込みをする場合、その適用開始の希望日が過去の契約の解約の日又は契約種別の変更の日から1年に満たない場合には、当社

は、その申し込みを承諾しないことがあります。ただし、設備の変更又は建物の改築等のための一時不使用による解約又は契約種別の変更の場合はこの限りではありません（（４）において同じ）。

（４）本契約の契約期間満了前に他の契約種別（一般ガス供給約款に定める料金を除きます。）への変更を申し込みされた場合には、当社は、その申し込みを承諾しないことがあります。

6. 使用量の算定

当社は、前回の検針日及び今回の検針日におけるガスメーターの読みにより、その料金算定期間の使用量を算定いたします。

7. 料金

- （１）当社は、料金の支払いが、支払義務発生日の翌日から起算して２０日以内（以下「早収料金適用期間」といいます。）に行われる場合には、早収料金に消費税等相当額を加えたものを、早収料金適用期間経過後に支払いが行われる場合には、早収料金を３パーセント増ししたものを（以下「遅収料金」といいます。）に消費税等相当額を加えたものを料金としてお支払いいただきます。なお、早収料金適用期間の最終日が休日の場合には、直後の休日でない日まで早収料金適用期間を延長いたします。
- （２）当社は、６月使用分（５月検針日の翌日から６月検針日まで）から１０月使用分（９月検針日の翌日から１０月検針日まで）までの期間については、別表の料金表（料金表の定額基本料金（税抜）、流量基本料金単価（税抜）、基準単位料金（税抜）又は８の規定により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金を用います。）を適用して、早収料金又は遅収料金を算定いたします。ただし、使用量が認められない場合には、料金を算定いたしません。
- （３）当社は、１１月使用分（１０月検針日の翌日から１１月検針日まで）から５月使用分（４月検針日の翌日から５月検針日まで）までの期間については、一般ガス供給約款により早収料金又は遅収料金を算定いたします。ただし、使用量が認められない場合には、料金を算定いたしません。
- （４）当社は、空調機器を暖房用に用いる場合で、契約時にお客さまからあらかじめ申し込みがあったときは、１１月使用分から５月使用分までの期間については、別に定める選択約款の暖房用季節契約により早収料金又は遅収料金を算定いたします。

8. 単位料金の調整

（１）当社は、毎月、（２）②により算定した平均原料価格が（２）①に定める基準平均原料価格を上回り又は下回る場合は、次の算定式により別表の料金表の基準単位料金（税抜）に対応する調整単位料金を算定いたします。この場合、基準単位料金（税抜）に替えてその調整単位料金を適用して早収料金を算定いたします。なお、調整単位料金の適用基準は、別表２（４）のとおりといたします。

- イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき
調整単位料金（１立方メートル当たり）
＝基準単位料金（税抜）＋０．０８３円×原料価格変動額／１００円
- ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき
調整単位料金（１立方メートル当たり）
＝基準単位料金（税抜）－０．０８３円×原料価格変動額／１００円

（備考）

上記の算定式によって求められた計算結果の小数点第３位以下の端数は切り捨てます。

- （２）（１）の基準平均原料価格、平均原料価格及び原料価格変動額は、以下のとおりといたします。
- ① 基準平均原料価格（トン当たり）

53,430円

② 平均原料価格（トン当たり）

別表2（4）に定められた各3か月間における貿易統計の数量及び価額から算定したトン当たりLNG平均価格（算定結果の10円未満の端数を四捨五入し、10円単位といたします。）を平均原料価格といたします。

（備考）

トン当たりLNG平均価格は、当社の営業所等に掲示いたします。

③ 原料価格変動額

次の算定式で算定し、算定結果の100円未満の端数を切り捨てた100円単位の金額といたします。

（算定式）

イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格

ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

原料価格変動額 = 基準平均原料価格 - 平均原料価格

9. その他

その他の事項については、一般ガス供給約款を適用いたします。

付 則

1. この選択約款の実施期日

この選択約款は、2019年10月1日から実施いたします。

2. この選択約款の実施に伴う切り替え措置

- (1) 当社は、2019年9月30日以前から継続して供給し、2019年10月1日から2019年10月31日までに支払義務が初めて発生するものについては、下記の料金表により算定するものいたします。

料金表

(1) 定額基本料金

1か月及びガスメーター1個につき	3,780.00円(税込)
	3,500円(税抜)

(2) 流量基本料金単価

1立方メートルにつき	1,159.92円(税込)
	1,074円(税抜)

(3) 基準単位料金

1立方メートルにつき	84.8232円(税込)
	78.54円(税抜)

(4) 調整単位料金

(3)の基準単位料金(税抜)をもとに8の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。

- (2) 当社は、(1)に該当する以外のお客さまであって、2019年10月1日以降に支払義務が発生するものについては、別表の料金表を適用し、算定するものいたします。

別 表

空調夏期契約に適用する料金表

1. 適用

料金算定期間の末日が6月1日から10月31日に属する料金について適用いたします。

2. 早収料金の算定方法

- (1) 早収料金は、基本料金と従量料金の合計といたします。
- (2) 基本料金は、定額基本料金（税抜）と流量基本料金の合計といたします。流量基本料金は、流量基本料金単価（税抜）に契約使用可能量を乗じた額といたします。
- (3) 従量料金は、基準単位料金（税抜）又は8の規定により調整単位料金を算定した場合は、その調整単位料金に使用量を乗じて算定いたします。
- (4) 調整単位料金の適用基準は、次のとおりといたします。
 - ① 料金算定期間の末日が1月1日から1月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年8月から10月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ② 料金算定期間の末日が2月1日から2月28日（うるう年は2月29日）に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年9月から11月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ③ 料金算定期間の末日が3月1日から3月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年10月から12月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ④ 料金算定期間の末日が4月1日から4月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年11月から当年1月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑤ 料金算定期間の末日が5月1日から5月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、前年12月から当年2月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑥ 料金算定期間の末日が6月1日から6月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年1月から3月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑦ 料金算定期間の末日が7月1日から7月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年2月から4月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑧ 料金算定期間の末日が8月1日から8月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年3月から5月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑨ 料金算定期間の末日が9月1日から9月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年4月から6月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑩ 料金算定期間の末日が10月1日から10月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年5月から7月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑪ 料金算定期間の末日が11月1日から11月30日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年6月から8月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。
 - ⑫ 料金算定期間の末日が12月1日から12月31日に属する料金算定期間の早収料金の算定にあたっては、当年7月から9月までの平均原料価格に基づき算定した調整単位料金を適用いたします。

3. 料金表

(1) 定額基本料金

1 か月及びガスメーター1 個につき	3, 850. 00 円 (税込)
	3, 500 円 (税抜)

(2) 流量基本料金単価

1 立方メートルにつき	1, 181. 40 円 (税込)
	1, 074 円 (税抜)

(3) 基準単位料金

1 立方メートルにつき	86. 3940 円 (税込)
	78. 54 円 (税抜)

(4) 調整単位料金

(3) の基準単位料金 (税抜) をもとに8の規定により算定した1立方メートル当たりの単位料金といたします。